

大橋多美子

メゾソプラノリサイタル

—宮沢賢治のスケッチ—

曲目

宮沢賢治の詩による組曲

「歩行について」 林光/作曲

宮沢賢治の詩による重唱曲集

「風がおもてで呼んである」 萩京子/作曲

宮沢賢治によせる語り手と左手ピアノのための

「KENJI」 吉松隆/作曲・構成

バリトン **近野 賢一**

ピアノ **石山 英明**

朗読指導 **たかべしげこ**

2024

1/21日

14:00開演(13:30開場)

入場料：4,000円(全自由席)
前売：3,500円

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館
東山線・鶴舞線「伏見」駅 4番出口より東へ徒歩2分

●主催 アーベントムジーク

●後援

愛知芸術文化協会
公益社団法人日本演奏連盟
フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ

●チケット取扱い

芸文プレイガイド

チケットぴあ **Pコード：251-564**

二宮音楽事務所

●マネージメント・お問い合わせ

二宮音楽事務所 Tel:052-505-0151

序

わたくしといふ現象は

仮定された有機交流電燈の

ひとつの青い照明です

(あらゆる透明な幽霊の複合体)

風景やみんなといつしよに

せはしくせはしく明滅しながら

いかにもたしかにともりつづける

因果交流電燈の

ひとつの青い照明です

(ひかりはたもち その電燈は失はれ)

これらは二十二箇月の

過去とかんずる方角から

紙と鋳質インクをつらね

(すべてわたくしと明滅しみんなが同時に感ずるもの)

ここまでたもちつづけられた

かげとひかりのひとくさりずつ

そのとほりの心象スケッチです

.....略.....

大正十三年 一月廿日 宮沢賢治

メゾソプラノ
大橋 多美子



フェリス女学院短期大学声楽科卒業。1990年度愛知県芸術文化選奨文化賞、2010年度名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。1977年第1回ソロリサイタル、オペラ「魔笛」で初舞台を踏み、以来多くのオペラやコンサート、宗教曲、第九交響曲等のソリストを務めながら現在まで演奏活動を続けている。1987年、当時珍しかった古楽器との共演をテーマにアーベント・ムジークを立ち上げ活動を開始。そのほかジャズとのコラボや音楽朗読会などその活動はジャンルを問わず多岐に渡る。アンサンブルや合唱の指導にも永年携わってきており音楽を楽しんで現在に至る。CD「夢のあとで」「朝に」「もうすぐ春・折節の歌」「武満徹・細川俊夫/声とギターの世界」が発売されている。現在愛知芸術文化協会、日本演奏連盟会員。東海バロックプロジェクト顧問、「おんがたり」メンバー。アーベント・ムジーク主宰

バリトン
近野 賢一



京都市立芸術大学大学院修了。青山音楽賞新人賞受賞。青山財団より海外研修助成を受けて渡独し、フライブルク音楽大学ならびにミュンヘン音楽大学修了。国内外でリートによるリサイタルを意欲的に行っている他、オラトリオのソリストとしても多数出演している。2018年1stCD『美しい五月に〜シューマン歌曲集』を、2022年には2ndCD『冬の旅』をリリース。いずれもレコード芸術誌で推薦盤に選出されるなど、各誌で絶賛されている。令和4年度名古屋市民芸術祭受賞。現在、岐阜大学准教授、名古屋音楽大学非常勤講師。

ピアノ
石山 英明



オーケストラを彷彿とさせる繊細かつダイナミックな表現と、幅広いレパートリーを誇るピアニスト。国立ベルリン芸術大学ピアノ科に学び、在学中よりソロ・室内楽・オーケストラとの共演等の演奏活動を始める。近年は東海地方を中心にオペラ・歌曲の伴奏者として数多くの内外の歌手と共演し、オペラ公演のコレペティトゥールとしても数々の公演を成功に招いている。後進の指導にも積極的である。内藤忠勝、荒憲一、クラウス・ヘルヴィツヒの各氏に師事。現在、桜花学園大学保育学部教授。